

すべての人の命を
一番に考える政治に



30才 党東京都委員会 雇用と就活対策室長

吉良よし子

参議院東京選挙区予定候補

日本共産党

東京民報 日本共産党東京都委員会は吉良よし子さんの政策と見解を発表しました。
2013年4・5月号外 発行：東京民報社
港区芝1-4-9平和会館5階 1965年11月12日第三種郵便物認可



将来をになう若者が夢と希望をもてる働き方を。
子どもたちに原発のない未来を。
高齢者が安心してらせる社会を。
なによりすべての人の命を一番に考える政治を。

ひとりひとりの人生が
キラリと輝く日本をつくりたい。

東京中で生きてきたみなさんの
願い、みなさんと一緒にあげて
いる怒りの声を
私は参議院にとどける決意です。

吉良よし子

きら・佳子：1982年9月14日高知県高知市生まれ。高知県追手前高校卒。早稲田大学第一文学部（日本文学専修）卒。豊島区内の印刷会社に4年間勤務のち、東京都議会議員選挙（2009）豊島区候補。田村智子（現参議院議員）秘書をしたのち、日本共産党東京都委員会・雇用と就活対策室長。趣味は合唱、映画鑑賞、観劇など。ホットヨガにもはまっています。

ホームページ <http://kirayoshi.com/>

はじめまして 吉良よし子です



■高知県生まれ

高校卒業までずっと高知育ち。自由民権運動発祥の地の自由な風土は私の誇りです。あこがれの早大進学で東京に。学生時代は合唱のサークル活動に打ち込みました。

■「就職氷河期」世代です

「就活」では数十社受けて内定したのが1社。精神的に落ち込んで家族との連絡を絶ってしまったこともあり。その体験は「若者の生きづらい社会を変えたい」という私のいまにつながっています。

■民間企業のOLから政治の道へ

会社では、企業がつくるCSR報告書（社会・環境活動レポート）の研究・アドバイスの仕事をしていました。でも、企業の努力だけでは就職難や環境問題は解決できないことも知りました。ほんとうに企業が社会的責任を果たせるルールをつくるには政治を変えなくては。それが政治家をめざした動機です。

私の原点は「平和」

小さいころ、戦争の絵本におびえる私に、母が「その戦争に反対していた人たちがいたんだ」と、平和を追求し続けている日本共産党のことを教えてくれました。そういう党への信頼から、私は日本共産党への入党を決意しました。

若い感性で政治をかえる 吉良よし子さんを参議院へ



日本共産党委員長 志位和夫

吉良よし子さんは、いまの若者の苦しみをみずからも体験し、同世代として共感できる感性をもった政治家です。若者雇用問題での提言をまとめる先頭にたち、原発ゼロをめざす運動でもエネルギーシユに活躍しています。みなさんの願いを国政にとどけ、日本の新しい政治をきりひらく、吉良よし子さんをぜひ東京から参議院に送り出してください。



若者にまともな給料と仕事を

私は就職氷河期世代です。だからこそ、何十社回っても内定が取れない“就活地獄”、正社員でも非正規でも給料が上がらない、心の病があたり前の職場で働く若者の実態を、政治のチカラで変えたいのです！

そのために、実態調査にとりくみ、議論を重ねて「提言」をまとめました。若者を応援する政治の実現に全力をあげます。



都内の駅頭、街頭、大学で1300人を超える方から回答をいただきました

東京若者・子育て世代実態調査に寄せられた声から

以前と同じ業務なのに年収で150万円以上減った

サービス早朝出勤を強制される

ほぼ毎日帰宅は終電

残業がなくなくなり手取りが減って暮らせない

正規で働きたいが見つからない

人が減って有給休暇がとりにくい

「提言」は吉良よし子のホームページよりご覧いただけます <http://kirayoshiko.com>

若者を追いつめる政治をかえよう

世界ですすむ「ディーセント・ワーク」（人間らしい生活を営める、働きがいのあるまともな労働）の流れに日本だけが逆行しています。

若者の多くが将来への不安を抱え、過労死や過労自殺もふえています。日本の若者は追いつめられているのです。

若者の死因トップが自殺なのは日本だけ



日本の働くルールの無さは異常

	日本	ドイツ	フランス
残業規制	なし	1日2時間まで 年60日以内	年220時間 まで
解雇規制	なし	あり	あり
非正規の割合	37.8%	14.7%	14.2%

出典：「データブック国際労働比較2009」厚労省資料、EU資料

●給料アップ、最低賃金は時給1000円以上に

「ワーキング・プア」をなくし、非正規も、正規も、アルバイトでもパートでも、みんなが心に余裕をもって生活し、希望をはぐくめる賃金をめざします。

●「ブラック企業」ゼロ

異常な働きかたを強要する「ブラック企業」を野放しにしては、まともな企業の努力も報われません。働く若者の権利をまもり、「人間らしく働けるルール」を確立します。

●雇用ふやし、就職難打開を

長時間労働の是正、福祉、看護、介護、教育をはじめ、若い力をいかせる雇用をふやすとともに、公的な職業訓練を拡充します。

●若い世代の生活支援

家賃補助、認可保育園の増設、国民健康保険料の引き下げ、有利子奨学金返済の税控除など、若い世代の負担を軽減し、生活を応援します。

日本共産党東京都委員会
雇用と就活対策室の

「提言」から



中小企業への支援 がカギをにぎる

最低賃金の引き上げをはじめとする改善を実現するためには、賃金助成や税・社会保険料の減免など、中小企業へのしっかりとした支援が欠かせません。

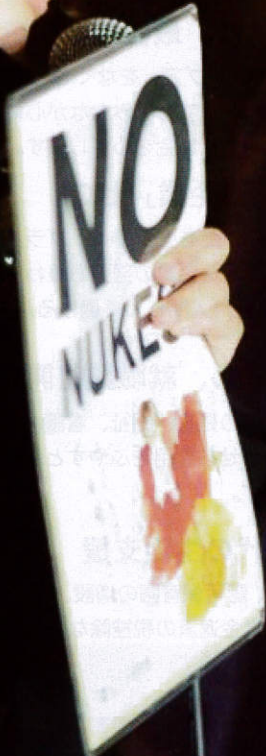
首相官邸前行動でのスピーチ
YouTube でご覧になれます

毎週金曜の官邸前行動で、「原発なくそう」の声をあげ続けてきました。

事故から2年たった今でさえ、福島第一原発は放射能を出し続け、キケンな状況がつづいています。

東京では、原発がなくても暑い夏も寒い冬も乗り切ることができました。なのに、電力会社や大企業の利益のために再稼働にひた走る安倍政権はゆるせない!

国民の命を守る政治が必要です。



「原発ゼロ」「命を守れ」の声を国会へ



首相官邸前
みんなで声をあげる



消費税増税反対
デモに参加

「命を守る」一番大事な責任を果たしていない、いまの政治をただしたい。年金、医療、介護、さらには生活保護の引き下げまで。国民の負担ばかり増やし、必要な特養ホームや保育園をあとまわしにする政治を私は変えます。



都内の老人保健施設で入所者から話を聞く



「池袋派遣村」の街頭相談活動にスタッフとして毎回参加しています

消費税増税・TPP 参加・憲法改悪

安倍政権の暴走ストップ

年間でサラリーマン世帯の1カ月分の給料をとりあげる消費税増税、農業だけでなく医療や食の安全が脅かされる危険も懸念される TPP への参加、さらに国防軍創設や戦争ができる国づくりをめざす憲法改悪の動きなど、衆議院での圧倒的多数を背景にした安倍内閣の暴走がつづいています。参議院で悪政をくいとめる力を大きくするためにがんばります。

消費税増税による家計への影響(年間)

年取500万円の標準家庭(夫婦と子ども2人)では	
消費税率上げによる負担	16.7万円
消費税以外の税負担増	6.4万円
社会保障関連の負担増等	9.8万円
合計	32.9万円

大和総研の試算などにもとづき作成

新しい政治をひらくベストチーム



吉良よし子さんと
力をあわせて
がんばります

参議院比例代表予定候補

日本共産党の比例代表5人の予定候補は、全員が国会で活動した経験と実績をもち、新しい政治への提案力も、実行力も試されずみのベストチームです。

仁藤ようい
活動地域 九州・中国・四国・沖縄
弁護士 49前

山下よしき
活動地域 近畿 (京都を除く)
書記局長代行 53現

小池晃
活動地域 東京・南関東
党副委員長 52前

井上きとし
活動地域 北海道・東北
党参院国対委員長 54現

紙智子
活動地域 北海道・東北
党農林・漁民局長 58現

えらんで安心
日本共産党

“ブレない”理由があります

しっかりとした基本方針(綱領)をもっています。企業団体献金をいっさいうけとらないので、誰にたいしてもハッキリものがいえます。税金わけどりの政党助成金もいっかんしてうけとりを拒否

18年間で5677億の政党助成金を山分け

自民	2566億円	
民主	1712億円	
公明	1420億円	日本維新の会、生活の党、みどりの風は今年から受け取り
社民	338億円	
その他	641億円	

日本共産党は受け取らず、廃止を主張

し、廃止を主張しています。選挙めあてに合流や分裂をくりかえす「浮き草」のような党とはちがい、国民としっかり結びついて活動しています。だから、日本共産党はブレしません。

草の根で国民と結びつく共産党
地方議員 2717人 党員 31万8千人 「赤旗」読者 130万人
うち女性 956人
地方議員数は2013年2月25日現在

このパンフレットはいかがでしたか
ご意見・ご感想をお聞かせください

☎ 03-3375-9323 吉良よし子 事務所まで

FAX 03-3375-9324

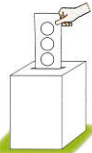
メールは吉良よし子のホームページから

吉良よし子
は情報発信
しています

@kirayoshiko
yoshiko.kira
吉良よし子チャンネル

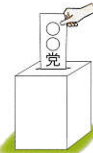
参議院選挙制度解説

1回目



選挙区の投票は
候補者名で

2回目



比例代表の投票は
政党名で

●個人名でも投票できます

日本共産党

http://www.jcp.or.jp